

令和 6 年度厚木市議会友好都市交流訪問団（横手市）報告書
【概要版】

1 訪問期間 令和 7 年 2 月 15 日（土）～16 日（日）

2 訪問先 秋田県横手市

3 訪問団 6 人

団長	遠藤	浩一	議長
団員	神子	雅人	議員
	松本	樹影	議員
	高村	真和	議員
	高橋	伸也	議員
事務局	高橋	幸雄	議会事務局長

4 目的

国内友好都市である秋田県横手市に、市議会で構成する訪問団を派遣し、議会関係者や友好交流団体等との友好親善を図ることを目的とする。

5 訪問日程

2 月 15 日（土）（1 日目）

6 時 45 分	厚木市役所 出発
10 時 15 分	羽田空港（発）ANA403 便
11 時 20 分	秋田空港（着）
13 時 30 分	増田まんが美術館見学
14 時 50 分	日の丸醸造見学
16 時 20 分	横手市議会表敬訪問、情報交換会、議場見学
17 時 20 分	かまくら見学（本庁舎周辺エリア）
18 時 30 分	友好交流会（横手市、那珂市、厚木市）

2 月 16 日（日）（2 日目）

9 時 00 分	梵天コンクール 審査員打合せ（議長）
9 時 30 分	梵天コンクール開会
9 時 45 分	梵天コンクール 審査開始（議長）
《9 時 50 分～10 時 45 分	秋田ふるさと村見学 議長以外の議員》
11 時 00 分	梵天コンクール 表彰式
16 時 55 分	秋田空港（発）ANA408 便
18 時 25 分	羽田空港（着）
20 時 00 分	厚木市役所 到着

6 観察等概要

2月15日（土）第1日目

（1）増田まんが美術館観察

増田まんが美術館の館長である大石卓氏が館内を案内していた
ただいた。

館内は横手市増田町出身の漫画家である矢口高雄氏（「釣りキチ三平」の作者）の偉業を記念し、1995年（平成7年）10月に日本で初めてまんがをテーマにした美術館として公民館、図書館、郷土資料館を併設する複合施設「増田ふれあいプラザ」内に開館された。2017年4月1日から2019年4月30日まで休館していたが、2019年5月1日にリニューアルオープン。リニューアル後は、複合施設ではなく「まんが美術館」単独施設として生まれ変わり、矢口高雄氏が初代名誉館長に就任されています。

原画収蔵数は今では48万枚以上あり、収蔵作家は、矢口高雄氏を始め高橋よしひろなど100名以上の原画を収蔵。74名の分の原画を展示している。本物の迫力と美しさ、作家の熱量を伝えることにより、豊かな感性を育み、マンガの素晴らしさを再発見し、マンガという文化を築き上げてきた幾多の作家たちの思いが、原画の息づかいから感じられるようでした。

名セリフロード、アーカイブルーム、マンガ展示室などでは、マンガに親しむことができ、コンベンションホール内の、「山女魚群泳」のタイトルで描かれた西陣の綴織りの綾帳は大変迫力があった。また、マンガライブラリーでは約2万5000冊の蔵書が閲覧でき、多くの方が自由にマンガを読んでいる姿が見られ、日本が世界に誇る「まんが文化」を守っていく文化的側面をもつ美術館が、地域づくりに大いに貢献していると感じられた。

（2）日の丸醸造観察

創業は元禄2年（1689年）。蔵の名前は、秋田藩主・佐竹公の紋処が「五本骨の扇に日の丸」だったことにちなんで付けられたと伝えられている。大正時代には、年間醸造量が5000石に達し、日英大博覧会において一等金牌を受賞。それにより、東北を代表する酒蔵として栄えた。しかし、戦時下の企業整備令によって、昭和18年に廃業に追い込まれてしまいます。昭和23年、基本製造石高300石の許可を得ることとなり、約300年の伝統を復活させ、今に至っている。

昭和56年にNHKの朝の連続TV小説「まんさくの花」が横手市を舞台に放映されたのを機に新たな銘柄である「まんさくの花」が誕生したこと。現在は日の丸醸造の代表銘柄として定着。

（3）横手市議会への表敬訪問

横手市役所を訪問し、市議会の小野議長、青山副議長他昨年の鮎まつりの際に厚木市を来訪された6名ほか1名の議員、議会事務局の菅原局長ほか職員の皆様にお迎えをいただいた。

小野議長からは、「ようこそお越しいただいた。こんな晴天の日は今年1番ではないか。先日は70周年にお招きありがとうございました。貴重な体験をさせていただいた。今年はまあまあ雪があり、かまくらも出来上がっているので楽しんでいただきたい。限られた時間ではありますが、横手の町をご堪能いただければと思います。」とのごあいさつをされた。

遠藤団長（議長）あいさつののち、広報広聴関連をテーマが中心となり、ユーチューブによる市議会のPR方法や議会だよりの表紙等の市民公募写真などたよりの作製方法、更には議会報告会のテーマ決めなど大変有意義な情報交換ができた。その後、議場を見学させていただいた。

（4）かまくら視察

横手市役所本庁舎周辺の雪まつり会場を案内していただき、約450年の歴史がある小正月行事である「かまくら」を見学した。かまくら職人の手により、作られたかまくらも。

会場では、かまくらに入るための行列があちこちにできており、とても賑わっていて、地元の子どもたちや企業がおもてなしをしている。かまくらにも入らせていただき、雪国情緒あふれる伝統行事を体験することができた。

（5）友好都市交流会

横手市からは高橋市長、議会からは小野議長、青山副議長他表敬訪問に出席された議員6名と茨城県那珂市議会木野議長を始め6名の議員、横手市議会事務局職員4名、那珂市議会事務局2名を交えた交流会が開かれ、地域振興やまちづくり、観光など様々な分野について意見交換を行い、3市議会の交流により親交を一層深めることができた。

2月16日（日）

（7）梵天コンクール見学・審査、表彰式出席

「ぼんとん」は、豪華な頭飾りが特徴的な横手の小正月行事で、約300年の歴史がある。神社へ奉納される前日には、頭飾りの出来栄えを競う「梵天コンクール」が開催される。横手の梵天の特徴は、他に類を見ないほど大型であることと豪華絢爛な頭飾り

で、「五穀豊穣」「町内安全」「商売繁盛」などの願いが込められている。梵天の頭飾りは、例年その年の干支などをモチーフにしているものが多いとのこと。色鮮やかな梵天が立ち並ぶ様は壮観で、「ジョヤサ、ジョヤサ」の掛け声とともに梵天を回し担ぐ姿は、大変迫力があった。コンクールでは、町内会や青年会などから23本の参加があり、遠藤議長も審査員を務めさせて頂き、白蛇がデザインされていた「三枚橋梵天奉納会」に厚木市議会議長賞として、表彰式で賞状とトロフィーをお渡しました。

表彰式終了後、三枚橋梵天奉納会の皆さんと岐南撮影を行った。

(8) 秋田ふるさと村視察【2月16日（日）】

1994年にオープンした秋田県の魅力を紹介する県立のテーマパーク（愛称は、かまくらんど）。秋田県の観光文化の拠点として位置づけられ、全ての施設が回廊で結ばれた全天候型の施設で、施設内には、アスレチックやプラネタリウム、秋田の特産品や伝統工芸品が揃う県内最大級の売り場や、ご当地グルメなどが楽しめるフードコートがあり、観光客や家族連れの方々が多くみられ、秋田の魅力発信の場となっていました。

7 まとめ

今回の訪問は、表敬訪問時の意見交換会や小正月行事であるかまくら、ぼんでん行事への参加を行い、横手市及び横手市の友好都市那珂市と親しく交流の場がもてました。

特に、表敬訪問時には、横手市議会の小野議長、青山副議長らから盛大な歓迎を受けるとともに、両市の課題について活発な意見交換ができたと思います。

かまくら梵天まつりでは、梵天コンクールにおいて議長賞の表彰もさせていただき、多くの観光客や家族連れの方々でにぎわっている中で、本市のPRができたことは大変貴重な場でもありました。

また、2日間の日程の中で、市内施設の視察を行ったことにより横手市の観光資源も豊富で、これらの歴史、伝統や文化に触れることもでき、友好関係を今後も進めていくことが大切であると確認できました。

本年の5月には、横手市との友好都市締結40周年を迎えます。これからもお互いの市、また議会が共に発展し、あらゆる分野での市民交流を積極的に行いながら、両市がともに発展していくような交流を模索していきたいとの思いを新たにする大変有意義な訪問となりました。